

WATANABE AKEO MUSIC FOUNDATION

第 32 回（2024 年度）公益信託渡邊曉雄音楽基金 特別賞

西山信雄氏

◆略歴◆

1956 年神奈川県に生まれる。1980 年株式会社読売旅行入社。
1981 年読売日本交響楽団欧州公演 41 日間（指揮フリーベック氏）、1984 年東京フィルハーモニー交響楽団欧州公演 49 日間（指揮尾高忠明氏）、1985 年日本フィルハーモニー交響楽団欧州公演 51 日間（指揮渡邊曉雄氏、小林研一郎氏）、1985 年徳仁親王（現天皇陛下）のオックスフォード大学卒業コンサートを始め、現在迄に NHK 交響楽団等全国幾多のオーケストラの海外公演を 44 年間で 80 回あまりアレンジ・添乗する。100 人を超す楽団員・楽器の移動・宿泊に安全、安心、体調面を常に心掛けている。

2024 年も引き続き海外公演を手掛けている。



◆授賞理由◆

西山信雄氏は 44 年間の長きにわたり株式会社読売旅行にて日本の数多くのオーケストラの海外への渡航公演における移動、宿泊、楽器運搬等々の手配に関するスペシャリストとしての重責を担った。氏の担当した海外公演は日本オーケストラ連盟正会員の楽団に限っても実に 14 楽団、延べ 59 回*に及ぶ。（*コロナ等による中止含む）

オーケストラにとっての海外公演は、その楽団の実力・個性をさらに磨きあげ、また音楽による国際文化交流の役割を担う大きな意義を持つものであるが、不慣れな環境下で楽団員一人ひとりのコンディションの維持が非常に困難となることが多い。このような状況において氏の豊富な知見は見事に演奏を支え、音楽家の特性や心情に寄り添う姿勢は共に音楽を作る仲間たちから多大なる安心と信頼を寄せられてきた。各楽団の海外公演の成功、ひいては活発な数々の海外公演の実施に大きく寄与し、日本のオーケストラの飛躍的發展を支えてきた氏の功績は大変に大きい。よってここに渡邊曉雄音楽基金特別賞を贈ることとする。